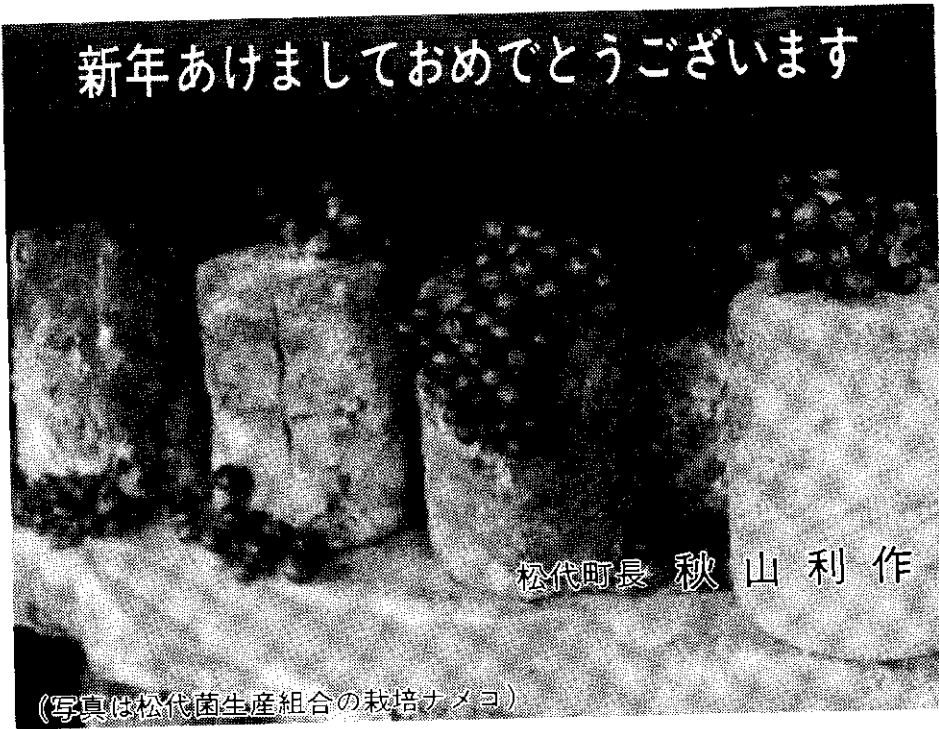


報 廣 ま つ だ い

昭和52年1月10日発行
第 206 号
新潟県松代町公民館
電話松代 7-2301番
印刷・松代印刷所



松代町長 秋山利作

(写真は松代菌生産組合の栽培ナメコ)

心から厚くお礼申し上げます。

ふりかえり
ますと昨年の我が国は、ロッキード旋風にはほんろうさ

れて、景気回復に對する国民の願望もむなしく不況の波が国民生活をゆるがせ、

加えて冷害による農作物の減収が農家の方々に大きなショックを与えました。

このような背景を肩にしたまま昭和五十二年の新春を迎え、地方自治体は財政危機に直面して、今後の行

財政の方向を見極めなければならず、多くの困難をかかえることになりました。

しかし、我が松代町は多年の宿願でありました北越北線の開通に備えて、今年から駅前広場や駅前

道路の建設にとりかかるとともに、町の将来を担う少年たちに夢と希望を与えるための教育の殿堂として、松代町統合中学校の建設に着手する計画でございます。

この二大事業を達成させるため

には莫大な資金を必要とすることは、みなさまも十分ご承知のことと存じます。

私は「創意と工夫をこらし」この事業によって現在まで進めてまいりました他の行政施策が圧縮されることのないよう、全町民のみなさまのご要望にこたえてゆける行財政の運営に、最善の努力をつくす覚悟でございます。

いま、当町がかかえております問題は数多くありますが、住みよい郷土の建設のため、特に当面の重要課題として
第一に、国道道並びに町道の改修舗装を促進して、冬期間の交通確保を図ることが不可欠だと存じます。

第二に、ほ場整備・田ならし事業並びに農林道の開設など農業生産基盤の整備を行ない、労働生産性の高い農地を造成することが必要であると思えます。

第三に、特別養護老人ホーム、松代病院の完成など、高齢化社会に即応する総合的の老人対策や地域医療対策の強化をはからなければなりません。

このような考え方を基本として、独自の計画をすすめるとともに、国や県及び関係機関に対し強力に働きかけてまいる所存でございます。

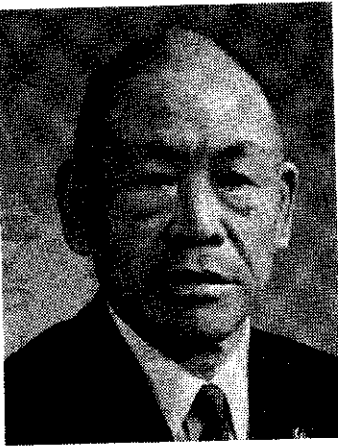
今年には己年であり、昔から「己年の困窮」などと呼ばれることが多く、この困難なときに「松代町がより一層発展する」ための基礎づくりが円滑に進むことをお願い申し上げます。町民みなさまのご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

昨年はいろいろとご支援をいただき誠にありがとうございました。

今年はいろいろとご支援をいた だき誠にありがとうございました。

今年はいろいろとご支援をいた だき誠にありがとうございました。

駅前広場と道路の建設 統合中学校の建設 に着手の予定です



老人生きがい対策推進事業

天神囃子の集録

東頸城郡の東部から魚沼、十日町地方にかけて、昔から目出度い席や宴席で大衆にしました。来た天神囃子（テンジンバヤシ）の集録を扱海荘で行いました。今後はこの集録をもとにして天神囃子の普及をしていきたいと考えています。

メ縄作り講習会

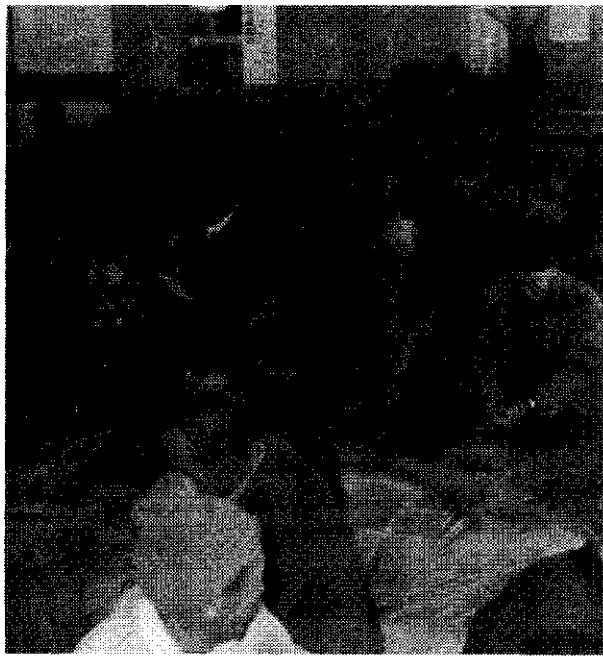
昨年十二月十六日に扱海荘で、

薬細工の名手である小荒戸の高橋政市さん（はしご田）を講師に迎え、正月に飾るメ縄作りの講習会を開催しました。

冷えた朝で、来た時はストーブにしがみついていたお年寄りも、講師の教えを受けて自分で作る段階になると、汗をかく程の熱気もこもり、百人近い受講者が真近に迫った正月を頭にえがき乍ら熱心にメ縄の製作に取り組んでいました。なお当日は田沢の高橋忠平さんによるはちんじよう作りの講習も同時に行われました。



先ずお手本を……中央が講師先生



熱心にメ縄作りに取組む老人クラブ員



天神囃子の集録（犬伏老人クラブ員）



講師先生の作品
メ縄と郷土の民芸品

高血圧予防

食事から塩分をへらそう

新年おめでとうございます。保健衛生シリーズを今年も宜しくお願い致します。ほんの一部分でも皆様の健康に役立て、頂きたいと念じております。

出稼者検診は昭和四十五年から循環器検診は四十九年から実施しております。細かい数字を抜きにしてもはっきりいえることは、高血圧症の中でも最低一〇〇、最高一八〇以上の方が非常に少なくなっています。而し、要医療、要注意の人はまだまだ大勢います。

我が国でも高血圧者の多い東北地方を中心とする農村の研究成績によれば、我が国の高血圧の発生要因として次のことが重視されるといわれています。

- 1 食塩のとりすぎ
- 2 栄養のアンバランス
- 3 寒冷
- 4 労働の過重

このうち今回は1の塩について書いてみます。

国民栄養調査の成績から東北を中心に
 1. 農村で食塩のとり方が多いこと
 2. 都道府県別にみた中年期脳卒中死亡率は、農民一人一日当りの食塩のとり方に正比例して高くなっていると言われています。全国各地の研究が協力して実際に調査した成績でも、食塩のとり方の多い地区に高血圧の頻度、脳卒中の発生率が高いことが確認されています。

最近開発された動物を使つての実験成績からも食塩が高血圧の発症に非常に影響することが示されています。

アラスカのエキスモーが一日にとる塩は二グラムで非常に寒いにもかゝらず高血圧症はなく、又ニユーギニヤ、南アメリカの奥の種族にも高血圧者がないと言われています。日本人は一日二〇〜三〇グラムの塩をとっているそうです。塩分摂取量の目安は健康な大

人で一日十五グラム、治療中の人は要注意の人は医師の指示にもよりますが大体七グラム前後といわれています。

漬物のおいしい季節です。塩のとりすぎに充分注意しましょう。

朝食に
 ○普通のみそ汁一杯塩一、五グラム
 ○野菜菜漬け五十グラム(卵大)

○納豆に醬油小さじ一杯塩一グラム
 以上を食べただけで四、五グラムの塩をとってしまいます。この他にもおかずがあり、又間食の漬物、塩せんべい等々で思わぬ程多くとってしまいます。

皆さんもそれぞれ減塩に工夫されています。皆さんもそれぞれ減塩に工夫されています。一度自分の家族のたべる塩を考えて頂きたいと思ひます。

みそ汁をうすめて食べる人もありますが、普通に盛った汁わんに湯を入れたのでは味がうすくなつてもたべる量は同じです。必ず三分の一か二分の一とってから湯を入れて下さい。漬物もたべる度毎にひと切れ少くすることが大切です。

魚は素焼にして酢をふつてたべましょう。二杯酢の利用、食品のもつ香りを利用する等工夫しましょう。

新大の田村先生の講演の中に塩は毒であるという言葉が何回も出て来ました。塩は高血圧や心臓病に悪いばかりでなく、熱い食事と共に胃ガン発生にも原因しているとの事です。

明日からと言わず、今日から、今から塩を少くするようにして下さい。慣れた食習慣をかえることは大変ですが、あなたの命と引き替えになります。

急に今までの半分にするのはむずかしいと思ひます。少しずつへらすこと、そして今の半分にすることを目標にして頂きたいと思

います。酒飲みの人に一週間に一日酒気のない日をつくってほしいといひます。塩は全然とらないといふことは出来ないと思ひますが週に一日五グラム位で食事する日も考えてみたらどうでしょうか。今年の冬期部落まわりでは塩のことについて話し、日常の食事の減塩について皆さんのお話し合いをしたいと思います。何かとお忙しいでしようが皆さんが大勢集って下さるようお願いいたします。(保健婦)

戸籍の窓口から

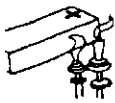
十二月受付分(受付順)

おたんじょう
 おめでとう



若井悠里 父明夫 母こしみ 長男 蓬平 鉄京
 市川はるか 父健一 母和子 長女 松代 どんねん
 岩本初美 父教夫 母ミヤ子 長女 松代 奥村組
 柳満智子 父兼吉 母芳江 二女 孟地 橋場

おくやみ
 (死亡)



市川トメ 六四才 田沢 日の屋
 中沢スイ 八一才 寺田 吉田や
 瀬沼ツ子 七四才 松代 瀬沼
 柳 サヨ 八二才 千年 ぶんねん
 本柳サク 八一才 名平 沢田
 小林与七 八二才 蓬平 よざえん
 室岡ハナ 七三才 仙納 紙屋
 佐藤マサヲ 七十七才 濁 あり原
 関谷勘太郎 七七才 室野 忠左エ門
 美濃和政 則八三才 福島 徳えん

人口のうごき
 (1月1日現在)

世帯数	2,041	(-6)
人口	3,994	(-12)
男子	4,039	(-7)
女子	8,033	(-19)
出生	4	10
死亡	8	21
転入	12	31
転出		
増減		

お支払いしました水稲共済金は
三千二六九万二千六六〇円

二八年・三三年に次ぐ大被害

昨年は苗代期より低温で苗の生育が悪く作柄が懸念されたが、その後の好天で平年並の作況をとりもどした。しかし、一番大切な出穂期を迎え、連日の降雨のため低温寡照の異常気象により、穂首イモチ病の大発生となってしまいました。被害の型はちょうど昭和二八年の冷害型穂首イモチ病と同様で、農家経済に大打げきを与えて

しまいました。この大被害に対し、町では水稲共済金を少しでも多く、又早期に支払すべく全力を尽し、年内に支払を完了いたしました。農家数の約六割の八四〇戸が共済金支払い対象となり、被害の大きさと深さがひとしと感じられました。なお、水稲共済金の支払状況は次表のとおりです。

昭和51年度産水稲共済金支払状況
 (51. 12. 15 支払済)

被害名	被害面積	支払共済金	割合
冷害	7,426a	18,787,780円	57.5%
穂首イモチ	8,349	13,423,080	41.0
水害	170	448,800	1.4
鳥害	16	33,000	0.1
計	15,961	32,692,660	100

過去に於ける主な年次別被害の調

(産業課共済係)

昭和	被害内容	被害率
28年	冷害、穂首イモチ大発生	15.4%
31年	セジロウンカの大発生	4.4
33年	台風豪雨連続のため穂発芽	14.3
36年	第二室戸台風による稲の脱粒現象	4.4
42年	田植期の大雨害付不能	1.6
49年	田植期後半の干害枯死続出	2.5
51年	出穂期長雨冷害、穂首イモチ病	6.0



ナメコを
 町の産物に



↑ ナメコの選別
 ← ナメコの採取

「ナメコ」を町の産物に

「私たちのナメコ栽培は今は最盛期です。採取は隔日ですが平均約10kg収穫があり、大島森林組合に出荷しています。」
 松代菌生産組合：「それは千年部落に建設された内職センターの一部で行なわれている、武田雄一郎氏を会長とする八名のナメコ栽培のグループです。」

松代菌生産組合

生産を通して仲間づくりを進める。
 ナメコ栽培を副産業として定着させる。
 などをモットーに昨秋発足、菌についての研究はもちろん、稲作の研究・生活改善・町と部落の発展についての語り合い等、心のかい合った人達の実践です。

(次頁へ)



作業は当番制で朝八時頃から採
取し、それを大ききで分け頭と茎
とに分離し選別するのが日課、茎
も食品に加工されるので無駄にな
るところはありません。
また、ナメコを採取するときの
楽しさは格別です。
ナメコはポット栽培で、昨秋町
役場を通して大島森林組合から七
五〇〇個購入し、内職センターの
二階に設備を施し開始いたしました。
当初の計画ではポットの周囲
に土を入れ保湿させ十一月に発菌
させる目論見でしたが、異状天候
のためか九月下旬に発菌が始まっ



てしまい農繁とかさなって土入れ
作業ができず、計画を変更し電力
による加湿機を使用しています。
このように、町当局並びに関係
者の指導・援助と、みんなの努力
により第一年次の成果は上々であ
りました。
私たちの願いは、今後町当局並
びに関係機関の指導により、町内
各所で内職として、また余暇を生
かしての菌生産が盛んになり、こ
れを統一する組合が結成されると
ともに販路ができ、町の産業の一
つになること、町のみなさんの需
用は町で生産した新鮮な菌で満す
こと等でありませぬ。

みんなでお遊び
サンタクロースも仲間入り
おかあさんも楽しそう。

お子さんは宝
みんな元気で可愛いな。



保育園のクリスマスパーティー

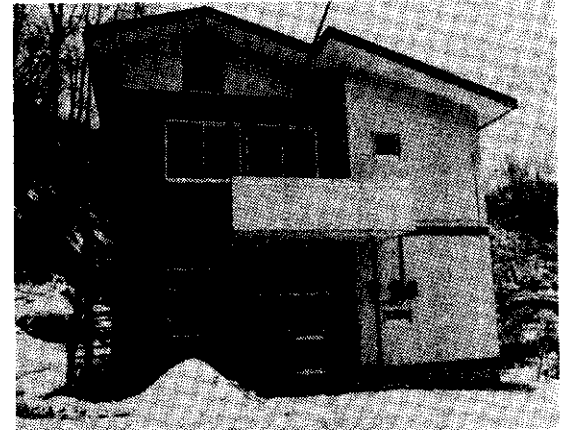
恒例の松代保育園のクリスマスパー
ティーが、12月25日町総合センターで
行なわれました。

この楽しさをご覧ください。



読み終わりましたら
出稼先のご家族に
お送り下さい。

「よい子になってね」
クリスマスプレゼント



ナメコ栽培が行なわれている内職センター

父兄の出稼先を訪問してみませんか

出稼先訪問バスのおしらせ

みなさんお元気ですか？ 遠い異郷の地へご主人やお兄さんを出稼に送り出し、留守を守るみなさん方のご苦労は大変のことと思います。また、出稼されているみなさんも、雪の故郷や家族のことを思い望郷の念切なることでしょう。県の援護事業である「出稼訪問バス」が今年も運行されます。

これは、正月の帰省とは逆にこちらから家族の方が出稼先に行くもので、故郷と出稼先とを結ぶ定期便として実施されています。今年で四年目を迎えています。

出稼先の仕事場を見学したり、だんらんの機会をもち出稼者の苦労をねぎらい、またはげましていただくものです。みなさん行ってみませんか。申込をお待ちしています。

- 一、運行計画
1. 募集人員 二〇名
 2. コース
浦川原発—柏崎—長岡—東京—横浜着

3. 発車日時場所

三月四日(金) 午後五時ごろ
浦川原村役場前発車

4. 到着日時場所

三月五日(土) 午前九時ごろ
中野区のサンプラザ着、朝食のあと家族に引渡し

5. 自由行動

三月五日午前十時—三月六日午後八時

6. 帰る日時及び集合場所

三月六日午後十時上野駅前出発

二、経費

1. バス料金

東京 往復六千四百円
神奈川 往復六千七百円

2. 宿舎

希望者には県で斡旋します。
宿泊料一人三千円前後の予定

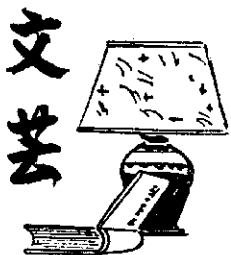
三、申込方法

一月三十一日までに申込書(電話でもよい)により役場職業係に申込んで下さい。
(職業係)

続・日記から

(六月—十二月)

西潟 まさを



文芸

移し植えた紫陽花咲へて長雨の今日の晴間を色鮮かに見ゆ。補聴器をつけてテレビの前に居る時間が多し梅雨のこの頃。山しよの若芽を摘み来て食事せり新鮮な香りを今日の初めに。心静めて御宮参りすたん生日七月二十八日の朝。

雨多き八月なれど季節故カンナもあかしサルビアもあかし。今年またむげの花の節となり遠い昔をあらためて想ふ。四季咲のくちなしの花また咲けりもの想わせるごとく匂へつ。自慢好きの二三人が寄りお互に自慢しあいつつたのしげに居る。ひとつ二つ皮肉を聞かされ自慢され聞き流しにしたまゝ黙って帰る。朝早く畦へはねあがりし鯉一尾助け得て今日一日たのし。神妙な表情をして投票の立会いと云ふ一日を終る。

一步一步数へるごとくゆっくりと師走の陽光の中を歩みぬ。病む友の家の前にてふと佇ちどまりまた歩き出すため息ひとつ。新しい日記を買へりためらわず来年もまだ生き伸る気で。古稀をすぎ五度目の新年をう書いた賀状の原稿を印刷屋へ送る。新聞は昨日のものをゆっくりと読むことにして隠かに居る。

新年レクリエーション

大会成績

恒例の新年レクリエーション大会であり、第四回少年少女卓球大会及び第二回カルタとり大会を一月六日、第三回囲碁大会を一月九日に町総合センターで開催いたしました。その結果をお知らせいたします。

卓球

◎小学校の部(松代小のみ6チーム参加、トーナメント戦)

優勝 第二分団(千年の子どもたち) 3勝0敗

二位 第六分団(松代原向きの子どもたち) 2勝1敗

三位 第五分団(松代坂の下向きの子どもたち) 敗者戦に

より2勝

◎中学校の部(松代中のみ3チーム参加、リーグ戦)

優勝 蓬平A 2勝0敗

二位 蓬平B 1勝1敗

三位 第一分団(松代) 0勝2敗

カルタとり大会
25名の参加でしたが競技はせず、子どもたちは自作の百人一首を会場一パイに並べて、走り廻って取り合い、成人は普通の百人一首で楽しく遊びました。

囲碁大会

久しぶりの好天に恵まれ気温も暖かく楽しい囲碁大会になりました。

しかし、好天のため屋根の除雪等で欠席者が多く、参加者は昨年の十名も下まわり八名でした。

午前九時半から開始、対局は総当りで午後六時すぎに終了いたしました。

成績は次のとおりで、高校の武石文雄さんは実力で昨年に続き連続優勝を飾りました。

- 優勝 武石文雄(高校・一級)
二位 丸山恵一(蒲生・六級)
三位 寺崎直孝(高校・三級)

訂正

12月10日発行第205号の7頁に次のとおり間違いがありましたので、お詫び申し上げ訂正いたします。

衆議院議員選挙候補者得票数のところ

- 高島修 九九〇票
高島修 九九〇票